

# はじめよう!



## CONTENTS

事業所の行事より	P 2～P 3
研修報告 講師 鶴澤礼美氏	P 3
現場で働くスタッフの声	P 4
パソコンボランティア 山口 孝様 (佐賀新聞より抜粋)	P 4
6月～8月 活動実績	P 5
さが福祉移動サービスネットワークより	P 5
7月～9月 会の動き	P 6
寄付者紹介	P 7
賛助寄附金のお願い	P 7
グループ事業所案内	P 8
ICTサポートセンターより	P 8



シャボン玉風景(まちの子ども保育園)



市民生活支援センター  
ふくしの家

先日、知り合いの結婚式に招かれたとき、隣にいた2人の介護施設の経営者から、求人をしていて誰も来ないといった話がありました。ある特養の施設長は、人が来ないので在宅サービスの一部はすでに赤字であり、社会福祉法人でなければもうとつくに辞めているはず、と言った話も聴きました。行く先々で、介護人材の不足の声を耳にすることが増えてきています。今後ますます高齢者が増え、要介護リスクを伴う人も増えていく中で、担い手不足はより深刻な課題になりつつあります。

介護保険が始まり、求職の面接会に何人も並び応対したことを思い出します。それはそれで世の中の雰囲気もたまたまものであり、今はその逆でこの業界を選ばないという作用が働いています。この両極端の反応はある意味で不自然さもあり、この業界の仕事や専門が未だ成熟されていない証であるようにも感じています。

人口減少はすでに始まっていますが、介護人材不足を含めた今日の現状を思うと、制度施行からすでに15年が経ち、公の制度にすさまじい数の民間がこぞって参入しながら、給付というデザインだけで管理される単調な仕組みに、もっと早く民間の創意工夫を取り入れられる余地も検討すべきだったし、またそれを後押しする仕組みも必要であったのではないかと考えます。管理という視点はもちろん必要ですが、より良くなるうとする自由な発想が過度に委縮される管理の仕方は、果たしてこれからの高齢者施策や、これから強い意志でこの業界を志す人たちの後押しになっていくのか、行政関係者も含め、この事業に関係するすべての人が考え、行動を起こしていく時期にきているのではないかと考えます。

自らのスキルを高めながらこの業界で志を持ちながらやっていくという人も大勢います。志はなく入ってきた人が、この仕事に出会ってやりがいを見出す人もいます。この人材難が偏った風評で伝えられている現状に違和感も感じています。この仕事が多様な仕事なのか、その本質を正しく伝えていく必要があるのではないのでしょうか。

正しく認識し、進んでこの業界に身を置いていける環境づくりを行政・事業者・住民全部が一体となって進めていけることを切に願います。

理事長 江口 陽介

祝 敬老会



今年も、まちのホーム循環・医大前それぞれに敬老会の行事を楽しみました。来年も皆様の笑顔が見られるよう、スタッフ一同がんばって参りますので、長生きして下さいね。  
筋力が低下しないよう毎日の食事をしっかり摂ることが大切です！

まちの子ども保育園



秋晴が続いています。みんな元気に近所の公園へ遠足。上手に歩けました！  
保育園の改修工事が続きご迷惑おかけしていますが、より良い環境づくり、より良い保育を目指してがんばります！



みんなであともろこしむいてるよ♪





前回 5 月に続きテラスでバーベキューを行いました。晴天に恵まれ皆さんにも大好評で、もう次回を楽しみにされています。

ひかりでは、日常も様々な工夫を凝らしレクリエーションを行い、大いに盛り上がっています。



今年よりレクリエーションの一環として脳活トレーニングを取り入れました。脳トレ体操や虫食い計算・漢字の組み合わせ・間違い探し等、楽しみながら取り組めるよう工夫しています。ある日は新スタッフ塚原君指導の下「ヘルシー鍋」作りに挑戦！みんなで料理を作ろうの企画では皆さん普段より箸が進まれます。

(管理者 金子)



## 内部研修報告

平成 27 年 9 月 17 日 / ふくしの家事務局会議室 / 19:00~20:00

「日本てんかん協会佐賀県支部」代表の鶴澤礼実医師を講師にお迎えし、ふくしの家 内部研修を行いました。



内部研修も今回で 3 回目となり定着してきた感もあり、44 名の参加で盛況でした。

ふくしの家には託児所や放課後児童クラブ等、子どものてんかん発作に直面している部門があるため、受講したことで得たものはきっと生かされる事と思います。

鶴澤先生ありがとうございました！

今後も各部署より、掘り下げたい問題、勉強したいテーマを挙げてもらい、希望に沿った研修ができればと事務局では考えています。



・先生から「100 人に 1 人の割合で私達にも発症の可能性はある」と言われまったく縁のないものではないようだ気づかされた。(米倉亜由美)

- ・3 年くらい前にてんかん発作の講習を受けましたが内容が少し変わっていたように思えます。先生によっても対応が違うし時間がたてば医学も進むので本当に難しいと思いました。(飯塚順二)
- ・普段から「大丈夫だろうか？」と行動を少し制限してしまいます。子ども達の自信や可能性を狭めていたのかもしれないと反省しました。安全を確保しながら、もう少し大きな心で「見守る支援」の大事さも再認識できました。(北原早苗)
- ・保護者との密な情報交換をする事が特に重要だとわかった。「てんかんが人生を左右することのない世界」の実現には、てんかんに対する偏見をなくして行かねばならない。正しい理解をする事が大事である。(眞鍋真紀)
- ・決して偏見をもたれたり悲観する病気ではない。発作により制限される遊びがある様ですが、出来ない時は別の代わりになる楽しみを見つけてあげる事や治療しながらでもお友達や先生方と学校行事や旅行・運動会・文化祭などのイベントに参加してたくさんの思い出を作っていってほしいと思いました。(山田芳子)

失敗を恐れない！

まちのホーム循誘 橋間 巧

私は、2年前の10月にふくしの家に入社しました。入社するまで介護経験はもちろん、洗濯や家事さえしたことない、それでやっていけるのか不安一杯でした。最初の頃はできないこと、分からないことだらけでみなさんに迷惑ばかりかけていました。そんな私でも利用者さん、スタッフさん、みなさんやさしく教えていただきとてもうれしかったのを覚えています。

この2年間ふくしの家で仕事をさせていただきました。いろんなことがありました。利用者さん1人1人にさせていただいた経験を活かし、もっと介護技術や知識がスキルアップできるように、失敗を恐れず新しいことにも挑戦していけたらと思っています。

3年目も精いっぱい頑張っていきたいと思っています。3年目も精いっぱい頑張っていきたいと思っています。3年目も精いっぱい頑張っていきたいと思っています。

ありがとう

まちのホームひかり 池田 真奈美

私は現在の介護職に就くまで全く別業種である調理関係の仕事や接客業に携わっていました。その私が介護職員に転職したきっかけは「基礎研修課程」で知識と技能を学び、自分にできるはずがないと思っていた事に多少の自信を持つことができたからで

す。現在「まちのホームひかり」に御縁があり、勤務2年目になります。週3日の短時間勤務ではありますが、利用者様とコミュニケーションを取りながら充実した仕事に携わっています。

利用者様との会話の中で、昔の苦労話や戦時中の話をお聞きし、涙ぐましい話に感銘するばかりです。今、この恵まれた時代があるのは利用者様たちのおかげによるものだと思いの感謝の気持ちでいっぱいになります。トイレ介助中や入浴介助中に必ず「ありがとう」の言葉をいただき、大変嬉しく感じると同時に励みになっております。「ありがとう」の言葉は私の心の栄養と言っても過言ではありません。

これからも「ありがとう」の言葉をたくさんいただける様に頑張って仕事を続けていく所存です。

パソコンボランティア

江北町 山口 孝 様



佐賀新聞 ひろば  
(読者の声)  
掲載より抜粋

障害者に対するICT普及事業は、県の委託を受けた佐賀市内の県障害者ICTサポートセンター「ゆめくれよん土プラス」で行っている。このボランティアになって7年、パソコン教室や外出で



きない方への派遣の任に就いている。

私がボランティアになったきっかけは、障害者向けパソコン教室を見学した時のこと。ボランティア講師の丁寧な教え方や話術に感銘を受け、さらに、わがパソコン知識の無知を恥ずかしく思った。すぐに、ゆめくれよん土の養成講座を受講、1年後に技能評価試験に合格し、パソコンの基礎を身につけた。定年後の目標も定まらず、わずかなパソコン知識で就職していた時、パソコンボランティアに出合った。それ以来、社会の片隅で一生懸命生きている人たちの、生活の向上や社会参加を願ってボランティア活動を続けている。

山口さんや他のボランティアの皆さんのおかげで、ゆめくれよん土運営できています！本当にありがとうございます。



重み 小野省子 (詩人)



自分が少し悲しむと  
お母さんがすごく悲しむから  
それがつらいと娘が言った

自分が泣いていると  
お母さんがすごく気にするから  
それが嫌なんだと 私をにらんだ

ああ こうして親たちは  
やわらかな手かせ足かせとなるのだろう  
あたたかな鎖をからませるのだろう

多くの子供たちが その重みで  
何かを思いなおすのだろう  
何かを思いとどまるのだろう  
投げやりに進み始めた歩みは止めて  
声をあげて引き返すのだろう

訪問介護

	ホームヘルプサービス			まちの移動ケアサービス		
	6月	7月	8月	6月	7月	8月
介護輸送	1,272	1,309	1,078	826	889	744
身体・生活	195	189	183	108	119	93



小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	6月	7月	8月	6月	7月	8月
開所日数	30	31	31	30	31	31
実利用人数	19	21	21	25	24	25

通所介護

住宅型有料老人ホーム

福祉有償運送

	まちのホームひかり			開所日数	ケアホーム			実利用人数	ふくしの家		
	6月	7月	8月		6月	7月	8月		6月	7月	8月
開所日数	22	23	21	開所日数	30	31	31	実利用人数	8	6	7
延利用人数	178	181	132	実利用人数	23	23	23	延回数	58	54	51

障がい者ICTサポートセンター(佐賀県委託事業)

ゆめくれよん+			
	6月	7月	8月
ボランティア派遣	16	33	25
パソコン教室	14	18	6
ボランティア養成	0	0	0
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	0
ふくしの家パソコン事業	18	31	33

子育て支援事業

まちの子ども保育園			
	6月	7月	8月
開所日数	26	26	26
児童発達支援	50	78	101
放課後等デイ	28	25	29
開所日数	30	31	31
一般保育	374	387	314
開所日数	26	26	26
小規模保育	95	102	93

特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)

	チャレンジドクラブ			かがやきクラブ		
	6月	7月	8月	6月	7月	8月
開所日数	25	25	21	26	26	24
利用人数	185	181	168	260	242	184

ささえあい(循誘地区)

	ふくしの家		
	6月	7月	8月
買い物	0	0	1
剪定	0	0	0



第25回鹿島・藤津地域リハビリネットワーク研究会の様子  
(鹿島市生涯学習センターエイブル)

9月16日、第25回鹿島・藤津地域リハビリネットワーク研究会に招かれ、早期移行が望まれる「介護予防日常生活支援総合事業」をテーマに、そのガイドラインについての説明を行ってきました。

厚労省より、予防給付のうち訪問介護・通所介護について地域支援事業への移行が決まっています。(H29年度末まで)さらに2025年までに地域包括ケアシステムの構築実現!

受講者募集中

次回予定

移動サービス認定運転者講習会

(国交省大臣認定)

2月13日(土)～14日(日)

お申込み受付いたします

☎ 0952-36-6865



- 2日 佐賀県身近な移動手段確保推進室から来訪・さが移動ネット
- 3日 認知症介護実践者研修 講師派遣/けやき荘
- 7日 認知症介護実践者研修実習受入れ (まちのホーム医大前)
- 8日 福祉車両送迎安全運転講習 講師派遣/鹿島市エイブル
- 10日 小規模保育事業所補助金説明会/佐賀市文化会館
- 11-12日 第35回移動サービス認定運転者講習会開催・さが移動ネット
- 13-14日 新地域支援事業県担当者会議出席・さわやか福祉財団/東京
- 15日 小郡市児童民生委員会より見学30名 (まちのホーム医大前)  
佐賀県身近な移動手段確保推進室から来訪・さが移動ネット
- 17日 佐賀県地域福祉課と鳥栖市地域共生ステーションとさくさん来訪 (ふくしの家事務局)
- 18日 新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム参加 さわやか九州1ブロック会議出席/竹田市
- 21日 佐賀県地域共生ステーション中部ブロック会議出席
- 22日 第1回佐賀県地域福祉支援計画推進委員会出席・佐地共連関係
- 23日 まちの子ども保育園確認申請調査 24日 佐賀県身近な移動手段協議会参加・さが移動ネット
- 31日 福祉車両送迎安全運転講習講師派遣/ケアコートゆうあい



- 3日 第1回福祉有償運送実施団体担当者研修会開催・県共催・さが移動ネット
- 11日 在宅ネットさが市民講座実行委員会出席
- 12日 佐賀県地域福祉課より来訪・佐地共連関係
- 18日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会
- 22日 在宅ネットさが市民公開講座パネラー派遣 24日 佐賀県長寿社会課訪問・さわやか関係
- 26日 ふくしの家理事会
- 27日 佐賀県自治修習所 講師派遣 (地域包括ケア取り組み事例発表)
- 28日 認知症介護実践者研修実習受入れ (まちのホーム医大前)
- 31日 福津市フォーラム・さわやか関連



- 1日 佐賀市紺屋町の居場所づくり開始
- 10日 鳥栖市地域共生ステーションとさくさん訪問・佐地共連関係
- 11日 総合福祉ビルハーモニーの取材対応 15日 佐賀県地域福祉課より来訪
- 16日 グループホームじゅんゆう寮 (共同生活援助) 実地指導  
ふくしの家内部研修「てんかん発作の基礎知識」講師：鶴澤礼実氏  
鹿島藤津地域リハネットワーク研究会講師派遣・さわやか関係
- 17日 高齢者雇用合同説明会参加
- 18日 生活支援体制整備事業・総合事業の関わりと進め方を学ぶ研修会・さわやか関係
- 21日 まちのホーム医大前・循誘・ひかり 各敬老会
- 24日 佐賀県地域共生ステーション中部ブロック会議出席 新地域支援事業講師派遣/嬉野市 さわやか関係
- 28日 佐賀県地域共生ステーション連絡会臨時世話人会・事務局 通院送迎サービスふれあい取材訪問・さが移動ネット
- 29日 佐賀市福祉課より来訪 (ふくしの家事務局)
- 30日 NPO法人ゆとり取材訪問・さが移動ネット 新地域支援事業講師派遣/神崎市 さわやか関係  
佐賀市福祉課より来訪 (ふくしの家事務局)



【賛助会費及び一般寄付】

平成26年9月～平成27年8月受付まで

明永 紀子様 山崎 新様 リコージャパン様  
 浦隅 美咲様 石村はるか様 樽井千佳子様 佛坂亜沙美様  
 満武 由佳様 野中 起子様 千住 倍己様 三浦 陽子様  
 貞島 美里様 岩本 理恵様 壬生 春花様 吉田小夜子様  
 川口 唯様 村上さゆり様 飯盛 佳子様 田中 真美様  
 原 祐子様 主藤 歩美様 永江 玲奈様 南 智美様  
 朝日日登美様 伊藤 侑加様 藤本 陽子様 池田 智美様  
 本村 欣矢様 内村 絵梨様 新ヶ江麻美様 泉 安由香様  
 下田 政江様 安浦岡美波様 都出 弘江様 宮崎 由香様  
 大串加奈子様 井上耕太郎様 石井 明香様 今村テル子様  
 江上ひさ子様 鳴 由梨様 緒方 信英様 阿部 翼様  
 西 真美様 岩瀬 妙子様 坂本 千陽様 永元 淳子様  
 土橋 清香様 木村 弥生様 廣瀬 梨沙様 羽生 彩可様  
 角町めぐみ様 岩本 仁美様 中村 真菜様 杉本 恵様  
 高尾 歩様 満行 誠二様 木下 玉枝様 眞島 百波様  
 畦間 正美様 新川 リカ様 富永 雅美様 石川亜由美様  
 橋間 知加様 川中 直美様 力武美保子様 田中小百合様  
 杉山 加奈様 マリトピア様 飯塚 優子様 諸岡 祥子様  
 古賀 愛子様 末益千恵子様 川内野清美様 下川 祐美様  
 九州電力生活協同組合様 小野 聖子様 山下 幸恵様  
 林 夏子様 坂本 清子様 櫻木 知代様 手塚 浩司様  
 鈴木 誠様 水流アレリデザイン様 堀 亜由美様  
 岩松わか子様 副島かおり様 浦山 利夫様 田島 博繁様  
 江越 浩様 富長然致子様 太田千賀子様 中島 安代様  
 龍 恵美子様 西 純二様 有吉 和枝様 岩村 明美様  
 損保ジャパン興亜火災ちきゅう倶楽部様



あしがとうごいびました  
心より感謝いたします

認定NPO法人～賛助寄附金のお願いについて

～ご支援とご協力を

県内に400以上あるNPO法人ですが、市民生活支援センターふくしの家は、県内を中心に活動する福祉系NPO法人として20年目を迎えております。今年3月には県内で4番目となる「認定NPO法人」となることができました。ご支援いただいた多くの皆様方に心より感謝申し上げます。

私たちにとって、認定NPO法人を受けたことで、公的サービスでは提供が難しい任意の非営利事業（子育て支援や移動サービス等）を営む上で、「みなし寄付金」を活用した優遇税制を受けられるようになりました。また「寄付をしてくれた方（寄付していただいた個人、寄付していただいた企業・法人、相続財産を寄付していただいた相続人）」にも、税制上のメリットが設けられ、寄付しやすい環境が整えられました。

認定NPO法人の制度は、これまで財政基盤が脆弱であったNPOの活動が強化され、より多くのNPOが地域で必要な活動を行う上での後押しとなり、住みやすい地域づくりへとつながっていきます。本会では下記の非営利活動をさらに充実してまいりますので、是非皆様方に賛助寄付としての応援をお願い致します。

- ◆移動困難者・移動制約者の福祉移動サービス（ふくしの家ホームヘルプ・まちの移動ケア鍋島センター）
- ◆働く人を応援する、子育て支援活動（まちの子ども保育園）
- ◆住民参加型生活支援ボランティアの育成（まちのホーム医大前） ◆暮らしのささえあい活動（まちのホーム循誘）
- ◆地域の中に高齢者等が気軽に集まれる居場所づくり（まちの暮らしステーション来ん家）

お振込先【郵便振替】口座記号番号 **01730-5-90681** 加入者名 **特定非営利活動法人 ふくしの家**

傾聴ボランティアに特別な資格はいりません。  
 お話をじっくり聴いて共感し、受け入れ、  
 孤独や不安を軽減させる手助けとなること。  
 週に1度、数時間、あなたの生き方にボランティア  
 という選択肢を是非加えてください。  
 ご連絡お待ちしております。  
 まちのホームひかり ☎41-8422(金子)

傾聴ボランティア募集中

スタッフ一同、心より  
 ご冥福をお祈り申し上げます

おくやみ  
 まちのホーム医大前  
 小野田洋子様 平成27年7月30日  
 まちのホーム循誘  
 江上寛康様 平成27年9月20日  
 江口日出男様 平成27年10月3日